

医療法人 豊隆会 **ちくさ病院**

各求職医療人材の皆様へ向けた法人PR資料

医療法人 豊隆会 ちくさ病院

目次

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. ご挨拶 | 7. 訪問診療 診療実績／福利厚生 |
| 2. 当院の特徴 | 8. 地域紹介 |
| 3. 施設概要 | 9. 教育体制 |
| 4. アクセス | 10. 訪問診療について |
| 5. 院内ギャラリー | 11. 在籍医師からの声 |
| 6. 在籍医師 | |

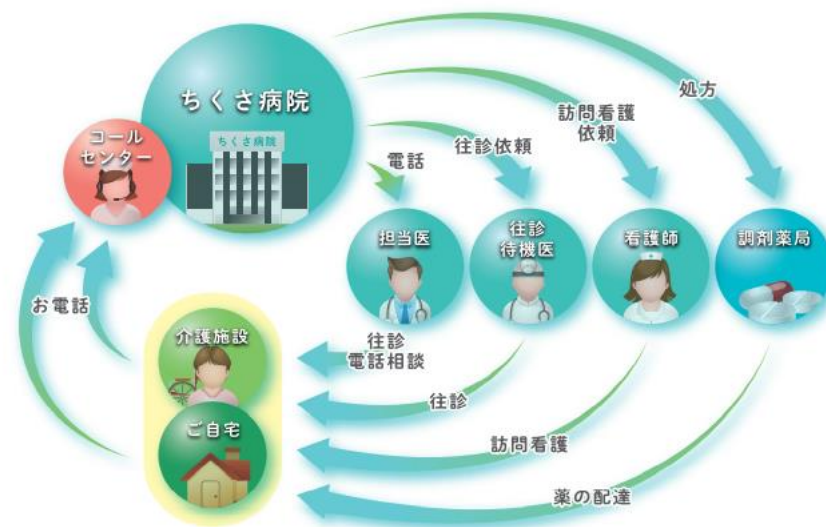
1. ご挨拶

より添う医療

24時間365日、いつもあなたのそばに。



〒464-0851 愛知県名古屋市千種区今池南4番1号
TEL : 052-741-5331 / FAX : 052-741-5330



ご挨拶

ちくさ病院は1952年創業、およそ70年の歴史を持つ医療機関です。現在では在宅医療を中心に地域包括ケアの要として、2,800人ももの在宅患者さんの生活を支える病院となりました。また在宅医療のバックアップ病院として機能をさらに強化するべく、2020年4月に新築移転し、新病院をオープンさせました。地域包括ケアが病院に求める三つの役割、救急機能、リハビリ機能、在宅医療バックアップ機能のすべてを満たす新しいタイプの病院です。7階建ての病院のうち、

入院患者の病床に充てられるのはわずかに2フロアのみ。他のフロアは全て、地域の高齢者の在宅療養生活を支える在宅医や訪問看護師、多職種スタッフへのサポートに利用されます。日本では高齢化がどんどん進行していますが、今はまだほんの序の口です。この地域を支えるための我々の挑戦はまだ始まったばかりです。いっしょに笑ったり、泣いたり、興奮したりしませんか。ちくさ病院のコンセプト「より添う医療」は、あなたにより添うことができた時、実現するのです。



2. 当院の特徴

より添う医療をコンセプトに在宅医療から入院まで。

2020年4月新築移転OPENの地域密着型病院。

医療法人豊隆会は名古屋市二次救急指定病院であるちくさ病院を中核に、24時間対応の在宅医療、訪問看護、訪問介護、高齢者住宅事業を名古屋市内に展開している法人です。負担感の強いイメージの在宅医療でも「医師が楽にできる」体制ができており、有給休暇を含めた長期の休暇もしっかり確保でき、オンコールや当直もありませんので在宅医療でも働きやすい職場環境が整っています。ちくさ病院は開設して70年近い歴史がありますが、在宅医療のバックアップ病院として機能をさらに強化するべく、2020年4月に新築移転し新病院をオープンさせました。



名古屋市内全域、2,800名の在宅患者を支え、
地域ぐるみで「在宅医療」の推進に取り組む。

ちくさ病院では千種区を拠点に名古屋市全域16区にすべて対応、古くから在宅医療の推進に力を入れている病院です。名古屋市内の施設・居宅を中心に約2,800名の在宅患者さんを24時間支えており、ICTのクラウド型システムによってリアルタイムで患者さんの情報が共有されています。

分業制やICTシステムの活用によって、
働く医師から負担感を排除する体制を構築。

在宅医療を推進するちくさ病院では「働く医師から負担感を排除」することを目的に分業制を採用しています。常勤医師は日勤対応に注力することで負担を減らし、夜間は外部委託の先生がオンコール待機から往診まで対応しています。また、患者さんの情報をICTシステムに反映させることで「その患者さんにどのような問題があるのか」「どんなお薬を飲んでいるのか」がひと目で把握でき、在宅医療が初めての常勤の先生でも安心してご活躍いただけます。教育面においても、カンファレンスを実施し、しっかりとした教育体制を整えおり、会食しながらの勉強会をしています。（ほとんどは在宅医療が未経験で、当院で初めて経験される先生が多いです）※残業なしで終業できている方が多く、ワークライフバランス重視の勤務が可能です。

訪問範囲は名古屋市全16区と半径約16km圏内



外部のEAP専門機関に業務委託し、医師のメンタルヘルスをサポート

専門資格や知識を持った外部委託カウンセラーによる、従業員支援プログラム（EAP）を実施しています。専門的なアドバイスや、内部では話せないようなデリケートな問題について、心置きなく相談できます。

3. 施設概要



医療法人 豊隆会 **ちくさ病院**

〒464-0851 名古屋市千種区今池南4番1号

☎ **052-741-5331**【代表】

☎ **052-733-7276**【在宅診療部】

- 公共交通機関で来院される方へ 地下鉄 東山線・桜通線 今池駅 8番出口 徒歩7分
- 自動車で来院される方へ 病院南西側のタイムズ駐車場をご利用ください。



在宅医療のご相談はこちら

☎ **052-741-5347** (在宅医療推進部)



健康診断について

☎ **052-741-5331** [インターネット予約](#)



施設名称	医療法人 豊隆会 ちくさ病院
設立	1952年（昭和27年）7月
所在地	〒464-0851 愛知県名古屋市千種区今池南4番1号
連絡先	TEL：052-741-5331 / FAX：052-741-5330
理事長	加藤 豊（名古屋大学 - 昭和62年卒）
院長	服部 智司（浜松医科大学 - 昭和63年卒）
病床数	53床（地域包括ケア病床）
職員数	205名（2023年12月現在）※医師は含まれていません
医師数	常勤26名／非常勤 51名／内 当直医師7名（2023年12月現在）

診療科目 内科・外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・消化器内科・循環器内科・神経内科・消化器外科・皮膚科・腎臓内科・代謝内分泌内科・老年内科・アレルギー科・精神科

診療時間 午前 9：00～11：30（月曜～土曜）
（外来） 午後 16：00～18：00（月曜～金曜）
休診 土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始

関連施設 アイリスちくさ内山（住宅型有料老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護・訪問看護） / ちくさ病院訪問看護ステーション / ちくさ翠香邸 / 株式会社ぬくもあ

URL <https://www.chikusa.or.jp/>

4. アクセス

所在地：〒464-0851 愛知県名古屋市千種区今池南4番1号



主要駅へのアクセス (車の場合)

JR/名鉄/近鉄
名古屋駅まで
約15分

中部国際空港まで
約50分



5. 院内ギャラリー



1F玄関ホール・受付

入ってすぐの大型デジタルサイネージでは、季節折々の風景に心が和む。ちくさ病院からのお知らせも表示される。通路や待合スペースも広々としている。



1F
一般撮影室・CT室



1F診察室



診察室は3つ。他に、救急処置室やレントゲン撮影室、CT室、各種相談室も1階に集約されている。

2・3F病室



安らぎを感じる病室。旧病棟に比べ、個室が増えている。

4Fリハビリテーション室



明るく開放的なリハビリテーション室は、外部へも出入りできるようになっている。

6. 在籍医師（2023年12月現在）

1/2

常勤医師数

26名

非常勤医師数

51 名

※以下は当院在籍の **常勤医師** となります。

氏名	役職	専門	出身大学（卒年）	年代
加藤 豊	理事長	腎臓内科	名古屋大学（昭和62年卒）	60代
祖父江 俊和	副理事長	循環器内科	名古屋大学（昭和58年卒）	60代
服部 智司	院長	脳神経外科	浜松医科大学（昭和63年卒）	60代
佐藤 太一	副院長	消化器外科	名古屋大学（平成10年卒）	40代
有川 卓	副院長	消化器外科	愛知医科大学（平成5年卒）	50代
石黒 太志	副院長	呼吸器外科	福井大学（平成13年卒）	40代
安間 英毅	整形外科部長	整形外科	弘前大学（昭和62年卒）	60代
杉浦 文紀	総合診療部部長	総合内科	高知大学（平成27年卒）	40代
大菅 雅宏	消化器内科医長	消化器内科	岐阜大学（平成元年卒）	60代
片山 繁	在宅診療部医長	外科・内科・透析	川崎医科大学（昭和63年卒）	50代
安藤 謙吾	在宅診療部医長	循環器内科	横浜市立大学（平成25年卒）	30代
常勤医師	循環器内科医長	循環器内科	名古屋大学（平成15年卒）	40代

6. 在籍医師（2023年12月現在）

氏名	役職	専門	出身大学（卒年）	年代
荒川 立郎	総合診療部医長	救急科	福岡大学（平成21年卒）	40代
熊谷 成将	在宅診療部医長	消化器内科	島根大学（平成22年卒）	40代
松井 香菜子	老年内科医長	老年内科	愛知医科大学（平成23年卒）	30代
中村 誠之	循環器内科医長	循環器内科	福岡大学（平成24年卒）	30代
森 秀介	総合診療部医長	総合内科	藤田医科大学（平成24年卒）	30代
吉村 淳	総合診療部医長	形成外科	山梨大学（令和2年卒）	20代
安野 史人	総合診療部医長	総合内科	東海大学（平成27年卒）	30代
水野 重	腎臓内科部長	腎臓内科	琉球大学（平成17年卒）	50代
石川 英樹	消化器内科医長	消化器内科	浜松医科大学（平成7年卒）	50代
米田 拓未	麻酔科医長	麻酔科	名古屋市立大学（平成31年卒）	30代
藤原 秀之	呼吸器内科医長	呼吸器内科	藤田医科大学（平成29年卒）	30代
市川 薫子	精神科医長	精神科	愛知医科大学（平成12年卒）	40代
加藤 真輝	総合診療部(2024年4月入職)	総合診療科	大阪医科大学（平成31年卒）	30代
加藤 祐将	総合診療部(2024年3月入職)	救急科	名古屋市立大学（平成23年卒）	30代

7. 訪問診療 診療実績／福利厚生

2022年度

訪問診療患者数（施設）	2,033件
訪問診療患者数（居宅）	746名
看取り件数 （2022年実績／2022年4月～2023年3月）	390件



福利厚生

学会参加制度

■ 研究費あり10～20万／年
初年度＝10万、2年目＝12万、3年目＝14万、
4年目＝16万、5年目＝18万、6年目＝20万、
以後＝20万（研究費は、学会の宿泊費、交通費、
参加費にて使用可能。また、年間3日までは出張
扱いとし、それ以上は有給などの消化となる）
※ 研究図書費3万／年

交際費

36万円/年 交際費の支給制度あり

※勤務1年以上の常勤医師のみ
※副院長以上は60万円/年

住宅手当

■ 家賃の50%、上限35,000円
※ 本人名義の場合

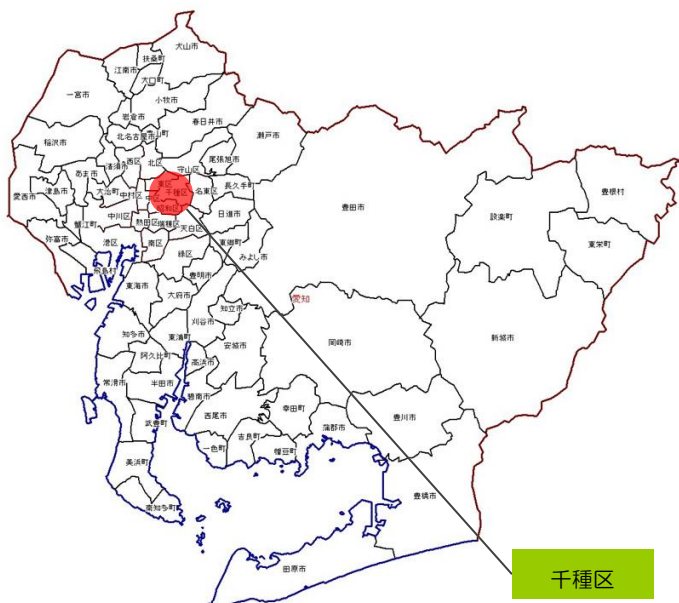
休暇

年次有給休暇(就職6ヶ月後に10日付与、最高
20日/年)、年末年始（6日）、夏季休暇（3日）

各種保険

健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
※ 病院賠償保険有

8. 地域紹介



愛知県

千種区の特徴

千種区の西部は、今池を中心に飲食店が立ち並び、昼夜を問わず賑わい、魅力ある商業・ビジネスのまちとして発展しています。また、大規模工場跡地の千種二丁目地区には「アーススクエア」と呼ばれる複合拠点施設があります。中央部の池下・覚王山・本山から東山にかけての丘陵地には、閑静な住宅街が広がっています。また、本山から昭和区山手通に続く四谷通や星ヶ丘周辺は、多くの学校が点在する文教地区であり、おしゃれな服飾店や喫茶店などが連なり、若さあふれるまちとして賑わっています。さらに、城山・覚王山地区を中心に多くの寺社や近代建築物などがあり、歴史的資源の豊かなまちでもあります。東部には、都市の緑としては国内最大級である410ヘクタールの広さを誇る「なごや東山の森」があります。その一部である、東山動植物園では「人と自然をつなぐ懸け橋」を目指して再生への取り組みをすすめています。

■ 近隣のおすすめスポット



千種区 東山動植物園

59haもの広大な園内には、動物園（本園・北園）、植物園、東山スカイタワー、さらに遊園地が併設されている。2015年度の年間入場者数は、日本国内で上野動物園に次ぐ約258万人



東区 バンテリンドーム

中日ドラゴンズが専用球場（本拠地）として使用しているドーム型野球場。プロ野球以外では高校野球や、大規模室内コンサート・イベント会場として使用されている。

9. 教育体制

カンファレンス風景



カンファレンスについて

ちくさ病院にご入職を頂ける先生方は、訪問診療の経験がない先生が殆どです。未経験の先生でも安心して勤務ができるように、先輩医師の診療に同行したり、自らの診療に先輩医師が同行をしていただく機会がございます。OJTで学ぶ機会以外にも、医師が集まり、カンファレンスを実施することで、難しい症例や希少な症例を発表・勉強する機会もあります。カンファレンスが無い日でも、医局内の雰囲気の良いため、活発に相談や意見交換が行われています。

又、カンファレンスの様子は、録画され、システム上にアップロードされているため、公休日のカンファレンスでも閲覧することが可能です。

■ 多種多様なキャリアの先生がご入職され、活躍されております。（例）

- 20代 形成外科(常勤)
- 60代 眼科(非常勤)
- 40代 呼吸器外科(常勤)
- 30代 老年内科(常勤)
- 40代 消化器外科(常勤)
- 20代 病理科(非常勤)

10. 訪問診療について

ちくさ病院の訪問診療の特徴

- ✓ 常勤医師の負担を減らす仕組みを積極推進
- ✓ 分業制によるワークライフバランスの安定
- ✓ 夜間、土日祝日の往診は、常勤以外の先生が対応（常勤は平日の日勤対応のみ）
- ✓ ICTのクラウド型システム導入（サーフェス配布）により、多職種間の情報共有・連携を強化
- ✓ 患者数の多い施設のみ、業務効率を考慮して紙カルテを使用（スキャニングによるデータ化）
- ✓ 訪問診療は看護師や医師事務（入力補助事務員）が同行し、居宅訪問は専任ドライバーが運転します。

施設訪問は医師に運転をお願いしますが、ご希望があれば、ドライバーを付けることも出来ます。

- ✓ 訪問エリアは名古屋市全域が8割程度。残りの2割は春日井市、豊山町、尾張旭市、東海市など
- ✓ 医師一人当たりの平均受持ち患者数目安は施設患者200名程度、居宅患者は67名程度

分業化やICTを含めた効率化によって、負担感の強い在宅医療のイメージを払拭

11. 在籍医師からの声

当院で働く医師からは、このような声を頂いております。

働きやすさについて

- 病院のヴィジョンが明確。地域医療や予防医療を担っている実感を持って職務に取り組める。
- 外来看護師のフォロー体制が整っており、優秀な方々ばかりで助かっている。
- 休みが取りやすくONとOFFの切り替えができる。自主性が重んじられてると感じる。
- 訪問診療のやり方はシステマチックで、担当医師がいなくても業務が回る。余計な残業がなく帰宅できる。
- 専門外の症例等、他の部門の先生に相談しやすい。話しにくい感じの先生がいない。
- 年齢、キャリア関係なしに評価していただける。
- 看護師さんはチームとしての意識が高く、自主的に動いてくれる。
- 主治医制だがチーム制要素があり、時間外や休日は、待機の先生の診察になるため、分業制が定着している
- カンファレンスを実施しているので、不安な症例も相談できる環境がある